

これまでの定山溪観光を取り巻く社会環境や、定山溪観光の現状と課題を踏まえ、定山溪の目指す将来像を掲げ、その実現に向けた基本的な考え方を示します。

1 目指す将来像

湯めぐり、森めぐり、水めぐり、 四季あそび—札幌定山溪

定山溪の発展の礎である「温泉」。

3つの泉質を楽しむことができる「温泉郷」。

風情あふれる温泉街をそぞろ歩きすると、

雄大な「渓谷美」やそこを流れる母なる川「豊平川」、

多種多様な「山野草」など、四季の表情を映し出す「自然」を

身近に感じ、心身ともに癒されます。

少し足をのばせば、

定山溪には温泉だけではない、たくさんの楽しみ方があります。

自然に包まれた、ちょっとオシャレな「食空間」。

ここだけの水・空・花・雪に触れ、

初心者向けから本格的なものまで楽しむことができる「アクティビティ」。

子ども連れから、家族、仲間同士、恋人同士、数名でも団体でも、

嗜好に合わせた過ごし方で

“癒し”と“楽しい”を感じることができます。

190万都市札幌の温泉観光地として、

このような、温泉を中心とした新しい価値と魅力をもった

「湯めぐり、森めぐり、水めぐり、四季あそび—札幌定山溪」を目指します。

2 将来像の実現に向けた基本的な考え方

新・奥座敷へ 心安らぐ“温泉”× 心躍る“+α”のリゾート空間

札幌の“奥座敷”として栄えてきた定山溪。

いつしか「気のおけない間柄の客をもてなす為の場所」という本来の奥座敷の意味合いからかけ離れ、札幌市街地からほど近い温泉地として、団体客の一泊宴会型で利用するイメージが強くなってしまっていることも事実です。

しかし、定山溪には、温泉での保養はもちろん、温泉以外にもさまざまな魅力があります。都心の喧騒を離れて落ち着いた時間の中で、家族や仲間と自然散策をしたり、活動的な体験をして遊んだりすることもできます。

定山溪の発展を支えてきた礎であり、まちの魅力の源泉である“温泉”をさらに磨き上げ、温泉地としての魅力を高めながらも、+αの魅力や資源を一体的に活用することで、定山溪の魅力の底上げや新しい価値の創造につながると考えます。

そのため、本来の癒しやおもてなしといった“奥座敷”としての定山溪を大事にしつつ、新しい魅力や価値を高めた「新・奥座敷」へシフトしながら、定山溪の観光魅力アップを進めます。

奥座敷：本来の意味として、元々は一般の立ち入りに限られた環境で、気のおけない間柄の客をもてなす為の場所

【キーワード】



基本的方向性

定山溪観光魅力アップの目指す将来像「湯めぐり、森めぐり、水めぐり、四季あそびー札幌定山溪」の実現に向けては、定山溪温泉街の情緒やそぞろ歩きをしたくなる環境などの「温泉街としてのさらなる魅力向上」と、広域的なリゾートエリアの構築のため、点在する観光資源を活用した「定山溪エリアとしての魅力創出」が重要となります。

そのため、これらの温泉街としての魅力の磨き上げと、定山溪エリアとしての魅力の創出の2つを主軸に、札幌市民、道内、道外、海外からの観光客それぞれの多様なニーズに合わせて、官民一体でさまざまな取組を推進していきます。

【基本的方向性のイメージ】

